

行政評価シート(事後評価)

コード (4) 1-3-2	事務事業名 暮らしの便利帳の発行	所管部課 企画部秘書広報課(旧広報聴課)
------------------	---------------------	-------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	転入者及び市民に対する市の総合案内書とし、市民生活に身近な事業項目を掲載し、市民生活の利便性と平等で均一化した市民サービスの向上を図る事を目的としている。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等	
	国及び都の制度改正に伴い、毎年1回各種事業の内容改訂を行い作成している。おもに転入者を対象としているため、市政案内及び施設案内の他、市の見所・史跡等の案内も含め、約140ページで構成されている。	
事業開始時期	合併前から 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
事業費(A)		3,854	3,654	0	4,610
財源	千円				
国庫支出金・都支出金					
地方債					
内訳					
その他 ()					
一般財源		3,854	3,654	0	4,610
所要人員(B)	人	0.13	0.13		0.13
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,083	1,064	0	1,061
臨時職員等賃金(C')	千円				
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	4,937	4,718	0	5,671
単位当たりコスト					
(E)=(D) / (印刷部数)	円	380	429	#DIV/0!	516

活動等指標	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
印刷部数	冊(千)	13	11	0	11
(指標の説明・数値変化の理由 など) 当市の世帯移動(転入転出)の年平均は、全世帯約86,000の約1割8,600世帯が年間移動し、入れ替わっている。さらに、3・4・5月の年度替わりの月には、約2,000世帯の流入が見込まれているため、世帯数の精査の結果表れた数字の変化である。なお、平成18年度の実績ゼロについては、平成19年度4月から手数料・使用料の改正及び組織改正が見込まれたため、より新しい情報の提供を趣旨とする便利帳の特性を勘案し、作成の実施を見送ることにより、経費の適正な執行を図った。					
成果指標	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
一 次 配布冊数	目標値				11,000
	実績値	冊	13,000	11,000	0
二 次 市民満足度	目標値				
	実績値	%			
(指標の説明・数値変化の理由 など) 現在当市の世帯数は、約85,000～86,000世帯を推移している。さらに、当面大規模な住宅開発も見込まれないことから、当分は現状の世帯数の微増減と思われ、平成19年度にあっては平成17年度実績値を目標値とした。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	主に転入者を対象としているため、特に際立った意見等の声は聞こえない。便利帳は転入者が当市における日常生活上で不明な点のガイド的な役割とし、さらに詳細な部分については、ホームページ及び広報紙の利用案内をアナウンスする。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 年1回改訂する団体が14団体、その他2～6年に1度改訂する団体が10団体、年2回改訂する団体が1団体となっている。配布対象者は概ね転入者、住民希望者となっている。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 市ホームページ・広報紙

コード (4) 1-3-2	事務事業名 暮らしの便利帳の発行	所管部課 企画部秘書広報課(旧広報広聴課)
------------------	---------------------	--------------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>主に転入者に対する配布目的の便利帳の性格から、直接的な意見聴取はなかなか難しい点もあるが、近隣各市との情報等を交換するなどの手段と、機会を捉え各窓口における意見聴取を行い、より見易く分かり易い便利帳の作成を目指し改善を図りたい。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	3			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	2			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	1		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>主に転入者を対象とする情報提供事業であることから、内容やページ規模、発行(改定)頻度などを再検討し、対象者を限定(特化)した内容で事業を再検討してもよい。 また、アンケート用紙を挟み込むなどを行い、利用者の声を収集することも検討する必要がある。 さらに、有償配布、広告収入の導入、立川市などで取り組んでいる民間ベースによる作成発行なども積極的に検討して、コスト削減を図ることが可能と考える。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	1			
受益者負担の適切さ	1			
市民ニーズの把握	1			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業はインターネットの普及により効果や必要性を再度検証し、実施の是非も含めて現在の事業内容を抜本的に見直す時期にある。 見直しに当たっては、二次評価記載のとおり、頁数や発行頻度などを絞ることや民間委託による有償頒布、広告収入の導入など、費用対効果を踏まえた検討が必要である。</p>